

職業訓練指導員スキルマップ活用マニュアル

「職業訓練指導員スキルマップ」の活用方法を5ケースに分けて紹介します。

【ケース1】「習得すべき技能・技術」を確認する

【ケース2】「習得すべき業務遂行能力」を確認する

【ケース3】「スキルチェック」を行い、現状の不足している専門スキルを確認する

【ケース4】スキルアップに必要な職業大が実施する職業訓練指導員研修を確認する
(令和3年3月追加の新機能)

【ケース5】「技能・技術の体系」を活用し、研修計画を立てる

New!

【ケース共通】テクノインストラクターの能力体系ページを表示する

「基盤整備センターホームページ」 <https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/> (図1) から

「テクノインストラクターの能力体系 (研修コースの検索)」の概要ページ (図2) を表示します。



図1 「基盤整備センターホームページ」のトップページ



テクノインストラクターの能力体系

(令和3年4月から研修コースの検索機能が追加されました)

※テクノインストラクター：「職業訓練指導員」の愛称

概要

労働市場において求められる職業能力、人材需要は、産業構造の変化、経済活動のグローバル化、技術革新等に伴い、多様化・高度化し、常に変化しています。我が国の人材育成の一翼を担うテクノインストラクターは、このような時代の流れと共に変化する製品のQCD (Quality, Cost, Delivery) を実現するための技能・技術を習得し、高付加価値化を生む数多くの高い技能・技術を付与する指導能力が必要です。さらに、専門的知識及び技能の指導だけでなく訓練のコーディネート、キャリア・コンサルティング、就職支援等に対応できる幅広い能力が求められています。

ゆえに、テクノインストラクターに必要な能力のうち、特にものづくり分野の職業能力開発を推進する上で必要な専門分野のコアとなる技能・技術等の能力要素を明確にし、これらの能力要素を各テクノインストラクターが確実習得することにより高い職業訓練指導員を社会に還元していくことが重要です。

今後、基盤整備センターで実施した「職業訓練指導員に必要な技能・技術要素の明確化、体系化等に関する調査研究」及び「ハローワークを支えるテクノインストラクターのあり方等に関する調査研究」において、各研修コースに結び付けテクノインストラクターに必要な能力体系を整理しました。

これらの調査研究では、テクノインストラクターの計画的かつ効果的な人材育成の確立として活用するため、訓練指導員に必要な技能・技術要素や共通に必要な業務遂行能力を体系化した「職業訓練指導員スキルマップ」及び各技能・技術要素の能力を明確化した「スキルシート」を開発しました。また、これらを活用し、テクノインストラクターが自身の専門スキルの現状把握が客観的、今後のスキルアップに必要な技能・技術を明確にし、職業能力開発総合大学校で実施しているテクノインストラクターの技能・技術の向上を目的とする職業訓練指導員研修のカリキュラム等が容易に確認できるツールを開発しました。

[職業訓練指導員スキルマップの活用方法についてはこちらをご覧ください。](#)

テクノインストラクターの能力体系一覧

- テクノインストラクターの技能・技術の体系
- 職業訓練指導員スキルマップ(訓練系・指導)
- 職業訓練指導員スキルマップ(共通能力)

※スキルマップについては、令和3年4月から各専小分科に関連する職業大の研修コースが検索できるようになりました。(パスワードが必要です)。



図2 「テクノインストラクターの能力体系」の概要ページ

【ケース1】「習得すべき技能・技術」を確認する

「テクノインストラクターの能力体系」のページ(図2)から
「職業訓練指導員スキルマップ(訓練系・科別)」を選択します(図3)。

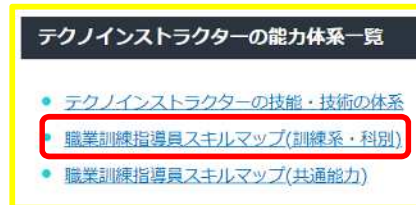


図3 「テクノインストラクターの能力体系一覧」のリスト

所属や目的の訓練科(例_普通職業訓練_塑性加工科)を選択(図4)して、職業訓練指導員
スキルマップ(図5)を表示します。



図4 「職業訓練指導員スキルマップ(訓練系・科別)」の説明ページ

表示されたスキルマップから必要な業務遂行能力を確認します(図5)。
優先度の高い能力をステップ1から、OJTや研修計画を立てます。
ステップ1～3は、難易度ではなく、経験年数(目安)を3段階に分けて表しています。
ステップ1 : 1年～3年
ステップ2 : 4年～7年
ステップ3 : 8年以上

塑性加工科

新編成(研修コース検索・スキルチェック付)

ダウンロード
(職業訓練指導員スキルマップ)

ぜひ、ダウンロードしてご活用ください
※ダウンロードできない場合は、お問い合わせください。

分野	分野名	分野コード	分野名	ステップ1	ステップ2	ステップ3
1	基礎・応用	1-1	基礎・応用	基礎・応用	基礎・応用	基礎・応用
2	応用・実践	2-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
3	応用・実践	3-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
4	応用・実践	4-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
5	応用・実践	5-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
6	応用・実践	6-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
7	応用・実践	7-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
8	応用・実践	8-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
9	応用・実践	9-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践
10	応用・実践	10-1	応用・実践	応用・実践	応用・実践	応用・実践

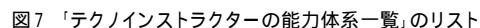
図5 職業訓練指導員スキルマップ(例_塑性加工科)

スキルマップの各技能・技術要素(例_工業材料(基礎))を選択すると、スキルシート(図6)
が表示されます。スキルシートを見て能力の詳細を確認してください。

分類番号	A101-M11	分類	機械材料	レベル	L1
技能・技術要素	工業材料(基礎)				
到達水準	工業材料の物理構造、組織を理解し、金属材料の基礎を知っていること				
能力の項目	- 工業材料の特性について知っている - 金属材料の性質について知っている - 金属材料の製造と加工について知っている - 金属材料の強化について知っている - 金属材料について知っている - 安全衛生作業ができる				
関連資格等					

図6 「スキルシート」(例_工業材料(基礎))

「テクノインストラクターの能力体系」のページ(図2)から「職業訓練指導員スキルマップ(共通能力)」を選択します(図7)。




[STOKYUJOM](#)

[画像メニュー（データ監査サービス）](#)
[会員登録メニュー（会員登録）](#)
[お問い合わせFAQ](#)
[リンク集](#)
[サイトマップ](#)
[アクセス](#)



[京大サイズ](#)
[中](#)
[大](#)

[センターの紹介](#)
[高度研究](#)
[技術と技術](#)
[論文誌・年報・その他の刊行物](#)
[統計・事例](#)
[データベース
\(数値統計・得意先データベース\)](#)

[トップ](#)
[> 研究・業務](#)
[> テクノロジストタスクへの教育体系\(修得コースの構築\)](#)
[> 職業訓練指導員スキルマップ\(共通能力\)](#)

職業訓練指導員スキルマップ(共通能力)

このスキルマップは、職業訓練指導員の専門性に関わらず、共通で必要な職業遂行能力を整理し、体系化したものです。現在自分がどの業務が得意で、どの業務に関わっているのか、そして、次はどの業務ができるようになればよいのかを一目でわかるようにしています。

開発したスキルマップは、職業大の研修コースが得意で、研修が済む方がカリキュラムへリンクできます。テクノロジストタスクへの個人スキルマップや研修企画等の参考にご利用ください。各業務遂行に必要な能力（知識、技術・技能等）については、スキルシートに記載しています。なお、整理した職業遂行能力やステップは、そのまますべてのテクノロジストタスクに当てはまるものではないため、一つの目安としてご覧ください。また、エクセルで作成していますので、ダウンロードしていただき、必要に応じて編集でご活用ください。

[「職業訓練指導員スキルマップ\(共通能力\)」はこちら](#)

● 職業訓練指導員スキルマップの活用方法はこちら

統計・事例
職業能力の体系
テクノロジストタスクへの能力体系 (研修コースの構築)
職業訓練指導員スキルマップ活用マニュアル
テクノロジストタスクへの技能・技術の体系
職業訓練指導員スキルマップ(得意先・社内)

p. 5

共通		職業能力開発力		職業訓練指導員スキルマップ	
修得		小分類名	ステップ1	キャリア	
大分類名				ステップA	ステップB
2 能力・実力	1 実務	01 訓練計画	関係法令・通達等の理解 企業訪問	研修コースの企画・実施 研修コースの企画・実施の支援	研修コースの企画・実施の支援 研修コースの企画・実施の支援
		02 訓練実施	募集活動 入所指導 訓練指導	研修コースの企画・実施 研修コースの企画・実施の支援 研修コースの企画・実施の支援	研修コースの企画・実施の支援 研修コースの企画・実施の支援
		03 訓練管理	機器の保守管理 教材管理 受講生管理(事務処理) 個人情報管理	研修コースの企画・実施 研修コースの企画・実施の支援 研修コースの企画・実施の支援	研修コースの企画・実施の支援 研修コースの企画・実施の支援
		04 施設運営サポート		研修コースの企画・実施 研修コースの企画・実施の支援 研修コースの企画・実施の支援	研修コースの企画・実施の支援 研修コースの企画・実施の支援

分類番号	Z102-C13	分類	訓練指導	キャリア	ステップ
能力概要	訓練実施				
到達水準	訓練の指導ができること				
能力の項目	〈前記〉担当する訓練に必要な専門知識、技能及び技術を有している ・指導能力の育成ができる ・作業分析表の作成ができる ・担当訓練のテキスト・補助教材等の準備ができる ・面談配付、プロジェクト等の訓練実装機器の使い方を知っている ・受講生の習得状況を確認できる ・習得状況に合わせた指導ができる				
アツの能力	職業能力開発指導力				

p. 6

【ケース3】「スキルチェック」を行い、現状の不足している専門スキルを確認する

スキルマップを表示しているページからスキルマップをダウンロードします(図11、12)。



図11 「職業訓練指導員スキルマップ (塑性加工科)」のページ



図12 「職業訓練指導員スキルマップ (共通能力)」のページ

ダウンロードしたスキルマップを開いて、持っているスキル要素にチェックを入れます(図13)。



図13 ダウンロードした「職業訓練指導員スキルマップ (塑性加工科)」

スキルマップの各要素(例.工業材料(基礎))をクリックすると、スキルシートが表示されます。
スキルシートを見て能力の詳細を確認してください(図14)。



図14 能力の詳細確認(例.工業材料(基礎))

スキルチェック結果のシートにすると、スキルチェック結果(図15)が表示されます。
スキルチェック結果を見て自身の不足している能力を確認してください。

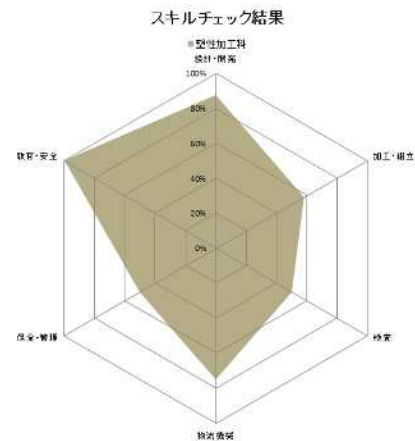


図15 スキルチェック結果(例. 塑性加工科)

将来的に習得していく必要があるスキルを踏まえて、今後のOJTや研修及び自己研鑽の計画を立てます。

New! (令和3年3月追加の新機能)

【ケース4】スキルアップに必要な職業大が実施する職業訓練指導員研修を確認する

ダウンロードしたスキルマップを開いて、自身が不足しているまたはスキルアップしたい分野(小分類)の横にある「関連研修一覧へ」を選択します(図16)。

塑性加工科		塑性加工科		職業訓練指導員スキルマップ											
技能・技術分野(ものづくり領域の小分類)				キャリア											
大分類		中分類		小分類		ステップ1		ステップ2		ステップ3		ステップ4		ステップ5	
A. 設計・開発	1. 材料特性・加工技術	A-1-01	機械設計	関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
				関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
B. 加工・組立	1. 機械加工	B-1-01	切削加工	関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
				関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
C. 検査・管理	1. 品質管理	C-1-01	品質管理	関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
				関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
D. 製造・販売	1. 生産管理	D-1-01	生産管理	関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
				関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
E. 経営・安全	1. 経営管理	E-1-01	経営管理	関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	
				関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ		関連研修一覧へ	

図16 ダウンロードした「職業訓練指導員スキルマップ(塑性加工科)」

選択された関連する研修一覧が表示されます(図17)。
研修内容・項目等確認したい研修名を選択します。

令和3年度職業訓練指導員研修一覧(令和3年1月6日現在)													
研修種別	研修番号	コース番号	研修名	日程	研修会場	定員	日数	研修内容	研修料	研修費	研修費	研修費	研修費
研修・指導員研修	22001	22001	機械設計・加工技術に関する研修	令和3年10月7日(水)～10月8日(金)	職業能力開発総合大学校	30	2	研修中					
研修・指導員研修	22002	22002	機械設計・加工技術に関する研修	令和3年11月10日(水)～11月12日(金)	職業能力開発総合大学校	30	3	研修中					
研修・指導員研修	22003	22003	機械設計・加工技術に関する研修	令和3年1月29日(土)～1月30日(日)	職業能力開発総合大学校	30	2	研修中					
研修・指導員研修	22004	22004	機械設計・加工技術に関する研修	令和3年2月14日(月)～2月15日(火)	職業能力開発総合大学校	30	2	研修中					
研修・指導員研修	22005	22005	機械設計・加工技術に関する研修	令和3年2月16日(水)～2月18日(金)	職業能力開発総合大学校	30	3	研修中					

図17 関連する研修一覧(例. 塑性加工科_小分類(機械設計・機械製図))

研修名を選択すると、該当研修カリキュラムが表示されます(図18)。

技能・技術実践研修カリキュラム				
コース番号	コース名	期 間	定員	日数
2203	3次元CADによるサーフェスモデリング技術	令和3年 2月15日(月)～ 2月16日(火)	8	2
開催会場	職業能力開発総合大学校 (東京都小平市)		機械設計・加工 技能・技術レベル L2 技能・技術要素 3次元CAD	
研修のねらい 及び 到達目標	製品や金型設計を進める上で、形状によってはソリッドモデリングだけでは複雑な曲面モデル(サーフェスモデル)の技能・技術を向上します。 (到達目標) ・ミッドレンジクラスの3次元CADシステムを活用できる ・サーフェスモデルの特徴を理解できる ・サーフェスモデリング手法を習得できる			
最低限 必要な知識	ミッドレンジクラスの3次元CADに関する基本的な作業ができること。 「3次元CADによる意匠モデリング技術」とセットでの受講を推奨します。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	1 サーフェスモデリング概要 (1) サーフェス作成の注意点 (2) ソリッドとサーフェスの特徴と相違点 (3) トランスについて (4) 質疑		2 H	
	2 サーフェス形状実習 (1) 曲面形状部品の製品設計の流れ (2) 課題実習			4 H
	3 自由曲面の作成・検証実習 (1) 曲線の種類と構成要素 (2) 曲線の連続性と評価 (3) 自由曲面の作成と検証と評価 (4) 寸法精度と滑らかさの評価 (5) 課題実習			5 H
	4 研修効果を職業訓練に展開するためのディスカッション (1) 意見交換 (教材、指導法等) (2) まとめ			1 H
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	サーフェスモデルの特徴を理解し、複雑な形状のモデリング技術を習得します。 機械の職種者訓練におけるテクニカルオペレーション科 (プロダクトデザインコース) を担当予定の方やサーフェスモデリングに興味のある方に最適です。		2 H	10 H
研修成果が 活用できる 職務	職務1	職務2	職務の内容	
	機械設計	部品設計	3次元モデリング	
担当教員 (ユニット)	吉田 雄、 (機械CADユニット)		外部講師	
使用する機器 等	3次元CADシステム (Solid works 2016)			
受講者が用意 するテキスト (予定)				

図18 研修カリキュラム
(例. 3次元CADによるサーフェスモデリング技術)

【ケース5】「技能・技術の体系」を活用し、研修計画を立てる

ケース3で、担当する訓練の職業訓練指導員スキルマップがHPに無い場合は、独自のスキルマップを作成して、研修計画を立てることをお勧めします。

「テクノインストラクターの能力体系」のページ(図2)から「テクノインストラクターの技能・技術の体系」を選択します(図19)。

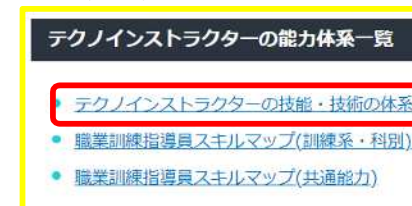


図19 「テクノインストラクターの能力体系一覧」のリスト

「テクノインストラクターの技能・技術の体系」はこちら(図20)を選択して、テクノインストラクターの技能・技術の体系(図21)を表示し、体系をダウンロードします。

テクノインストラクターの技能

この体系図は、テクノインストラクターに必要な技能・技術要素(機械設計・加工、金型加工、電気、電子情報、建築設計・施工、設備・保安等)の6分野をレベル分けし、体系化したモデルデータです。各技能・技術要素は、ものづくり訓練の分類体系の1段階毎に3段階のキャリアレベル(段階)の区分に基づいています。3段階の区分は、一般的なもの、基本的な技能・技術要素は1、より専門的な技能・技術要素は2、より高度な内容や専門分野を扱った技能・技術要素は3として整理しています。

各技能・技術要素に必要な能力(知識、技術・技能等)については、スキルシートに記載しています。テクノインストラクターの人材育成計画を立てる参考にしてください。

※スキルシートとは
各技能・技術要素については、どこまでの知識や技能・技術を有していればその能力を習得しているとするかを明確にするため、技能・技術要素毎に到達水準や能力の項目等を示した表です。

分類番号	分類	汎用機械加工	キャリア	1
技能・技術要素	要素(基本)			
到達水準	技能要素と目標程度の製品加工ができること			
能力の項目	・安全に機械操作ができる ・作業の段取りができる(リット取り付け、チャックによる取り付け) ・内径磨削、テーパ磨削、ねじ切り、偏心磨削等の切削加工ができる ・加工工程の設計ができる ・安全作業作業ができる			「到達水準」 修了、製作物や課題 (100%が修了する「100%の 仕事ができる」等の指標) 具体的な能力 (知って、できる等)
関連資格	普通技能作業2級、3級			関連する資格を記入

図1 スキルシート(例)「旋削(基本)」

到達水準の欄には、テクノインストラクター(ものづくりの指導者)であることを前提に、筆記だけで取れるような資格ではなく、技能検定の課題や製作物等が「できること」一文で表現した指標を記入しています。能力の項目の欄には、到達水準を満たすために必要な具体的な能力として「〇〇を知っている」や「〇〇ができる」と列挙しています。関連資格の欄には、指標となる検定や関連する資格を記入しています。

「テクノインストラクターの技能・技術の体系」はこちら

メールマガジン配信申込

図20 「テクノインストラクターの技能・技術の体系」の説明ページ



図 2.1 「テクノインストラクターの技能・技術の体系」のページ

ダウンロードしたファイルを開くと、全分野の技能・技術の体系が表示されます。
訓練科に関連しない分野のボタン(図 2.2)を選択して、非関連技能・技術を消去します。
(再度ボタンを選択すると表示されます。)



図 2.2 ダウンロードした「テクノインストラクターの技能・技術の体系」

表示されている技能・技術要素から必要な知識や技能等の詳細について確認します。
各要素をクリックすると、スキルシートが表示され、能力の詳細を確認できます。
レベル(L1～L3)は、各技能・技術分野の難易度をもとにした習得する順番を表しています。
L1：一般的に普及している基礎的・基本的な専門知識及び技能・技術
L2：専門分野の向上や拡大に関する専門知識及び技能・技術
L3：専門分野の高度化及び他の分野との複合化に関する専門知識及び技能・技術

技能・技術の体系を、新規エクセルファイルへコピーして、独自スキルマップを作成します。

- 1) スキルマップのステップは、技能・技術の難易度(体系のレベルL1～L3)ではなく、指導員のキャリア(新任、中堅、ベテラン等)に応じて習得する順番です。体系のレベルをステップに並べ直して独自スキルマップを作成します。
- 2) 技能・技術要素が不足している場合は、独自の要素を追加してください。また、独自の要素は新しいスキルシートを作成しておく、内容が明確化できます。

独自スキルマップは、計画的かつ効果的な人材育成のための羅針盤として機能します。

独自スキルマップの優先度の高い要素(ステップ1)から、将来的に習得していく必要があるスキルを踏まえて、今後のOJTや研修および自己研鑽の計画を立てます。

職業訓練指導員スキルマップを活用して、
計画的なスキルアップを図りましょう。